

ねだん

モノの値段のきまりかた

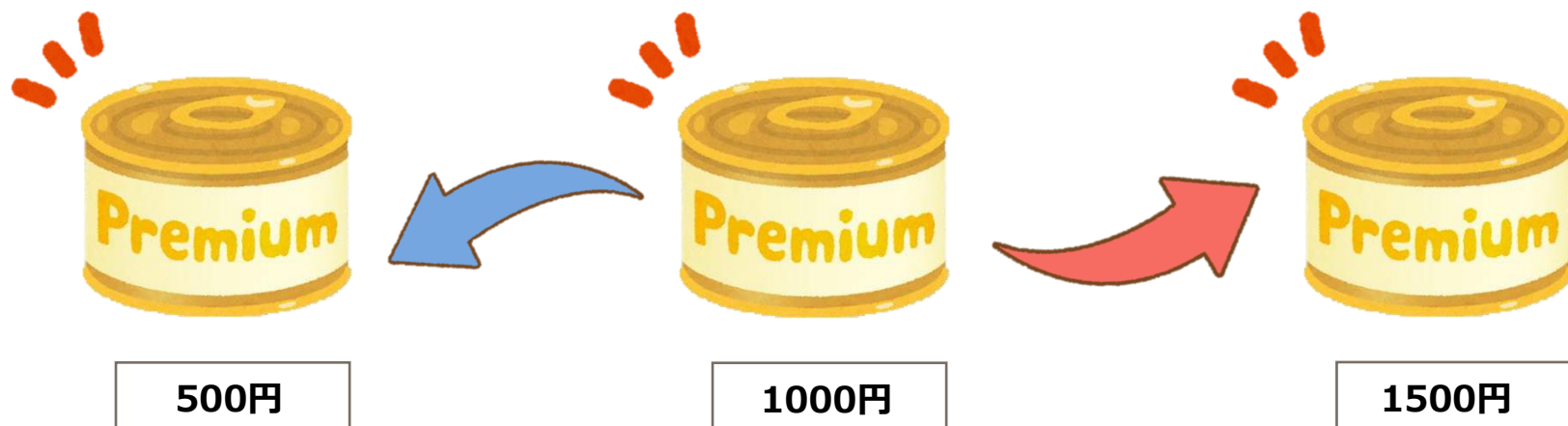
 京都フィナンシャルグループ

 京都銀行

みせ か
お店でお買い物します



ねだん か 値段が変わっている



どうしてでしょうか？

① 人気があるから値段が上がる

ねだん あ か ひと ねだん あ
値段が上がっても買いたいという人がいると、値段は上がっていきます。



¥ 1000



¥ 2000



ねだん か
値段があがっても買いたい！



② 数がすくないから値段が上がる

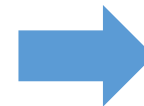
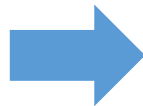
しゅうかく りょう せいぞう りょう すく ねだん あ
収穫できる量、製造できる量が少なくなると値段は上がります。



ねだんを
あげる
しかない...



1つ
1000円



1つ
1500円

③ 人気がないと値段が下がる

同じモノを売っている人気のお店が近くにあると、お客さんが減ってしまいます。
そこで、お客さんに買いにきてもらえるように値段を下げるようになります。

A店



B店



100円



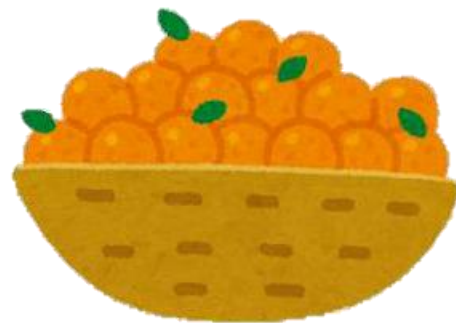
A店より売れるためには
ねだんをさげるしかない



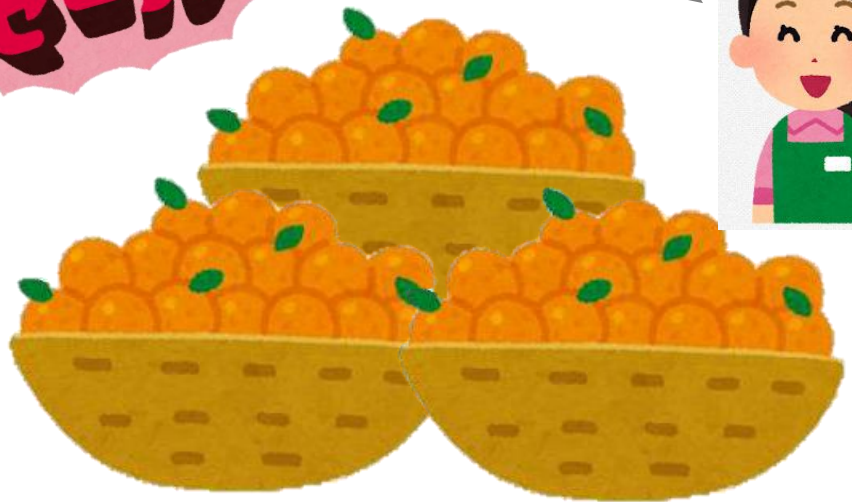
50円

④ 数が多いから値段が下がる

たくさん収穫できたり、製造できると値段が下がります。



1こ100円



1こ50円

たくさん売れるように
ねだんをさげよう



ねだん モノの値段のきまりかた

ねだん じゅう か りょう きょうきゅう う りょう ひと
モノの値段は需要（買いたい量）と供給（売りたい量）が等しくなるよう
ちようせい かかく じどうちようせい きのう
調整されています。このしくみを価格の自動調整機能といいます。

モノの量



モノを買いたい人



ぶそく
モノ不足

ねだんがあがる



モノの量



モノを買いたい人



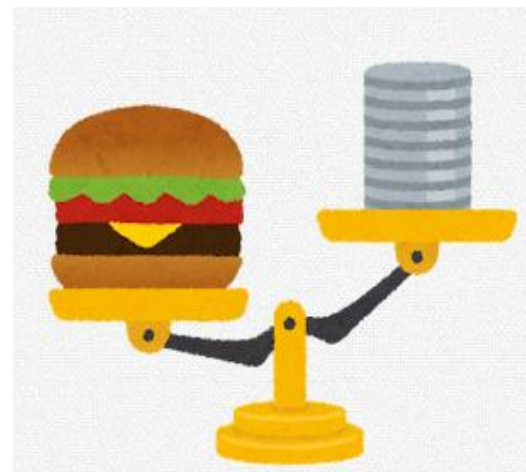
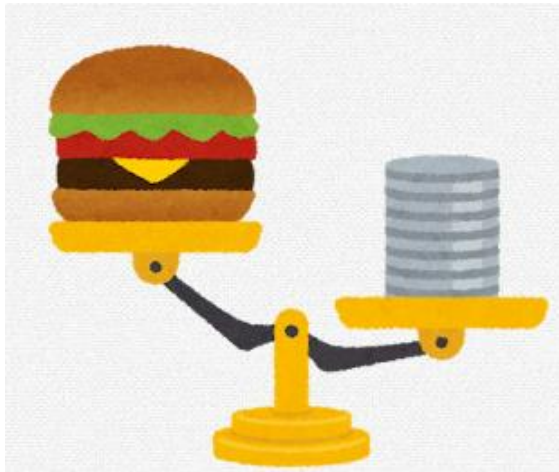
うれのこり
ねだんがさがる



インフレ・デフレ



モノのねだんが^あ上がりつづけたらどうなるでしょう？
^{はんたい}反対に^さ下がりつづけたらどうなるでしょう？



インフレーション（インフレ）

モノのねだんが上がりつづけ、世の中のお金の価値が下がりつづける現象が「インフレーション」、略して「インフレ」です。



モノの価値が上がり、お金の価値が下がったということです。

デフレーション（デフレ）

モノのねだんがさがりつづけ、世の中のお金の価値が上がりつづける現象が「デフレーション」、略して「デフレ」です。

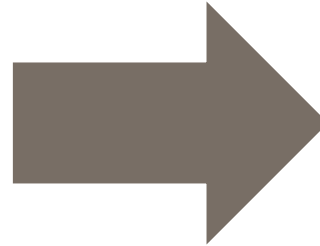


1に200円

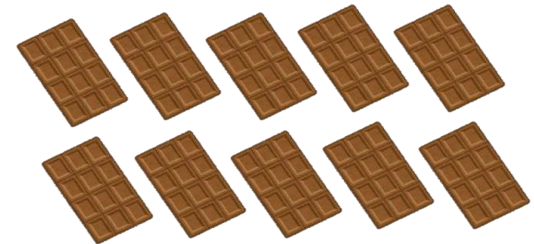


1000円でチョコレートが
5に買えた！

デフレになると・・・



1に100円

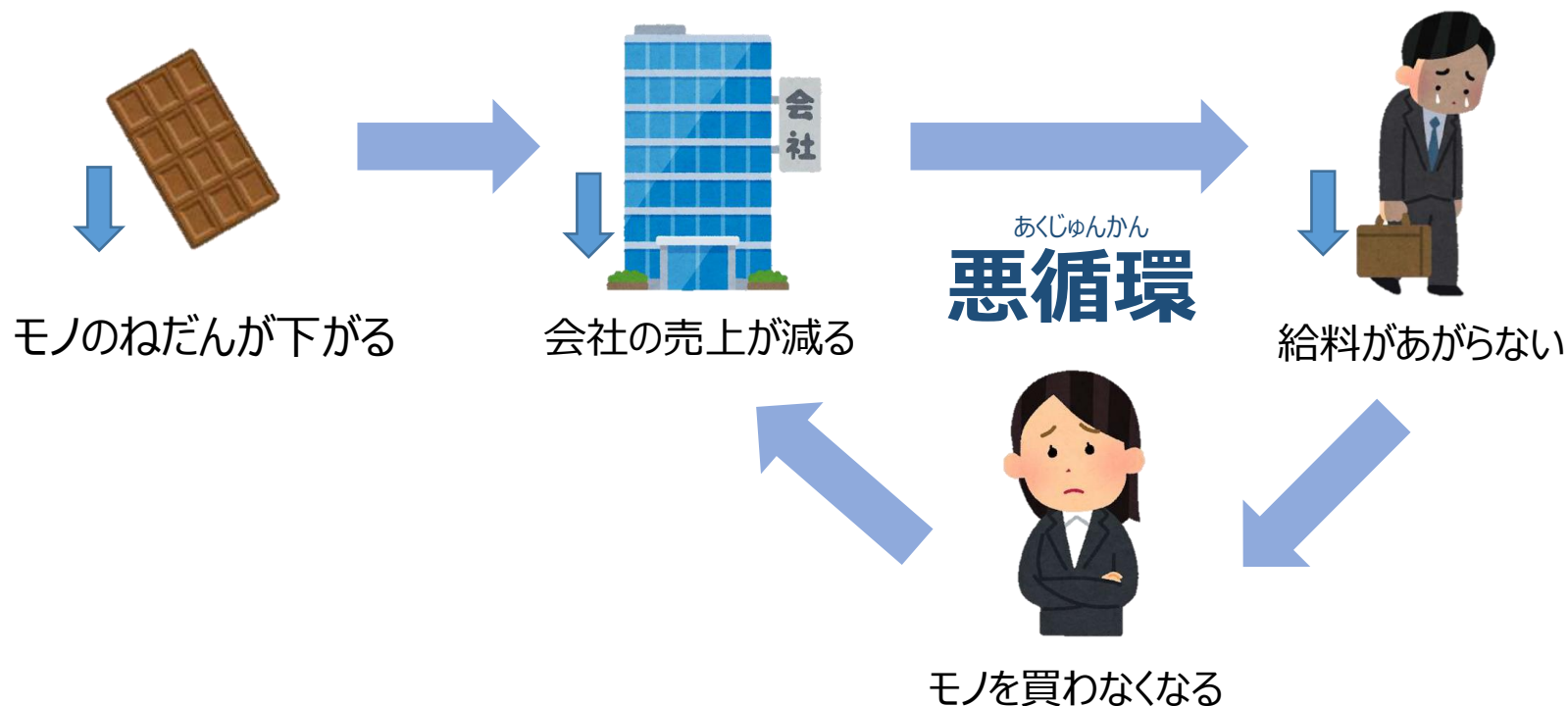


1000円でチョコレートが
10に買えた！

モノのがたくさん買えるようになりました。いいことでしょうか？

デフレスパイラル

モノのねだんが下がることで、
会社の売上、はたらいている人のお給料、消費活動に悪い影響を与えることがあります。
このわるい流れがどんどん進んでいくのを「デフレスパイラル」とよびます。



モノの値段は安定がだいじ

モノのの値段は上がりつつづけても、下がりつつづけても困ります。
モノの値段を安定させてるのが、
日本銀行のだいじなお仕事のひとつです。

